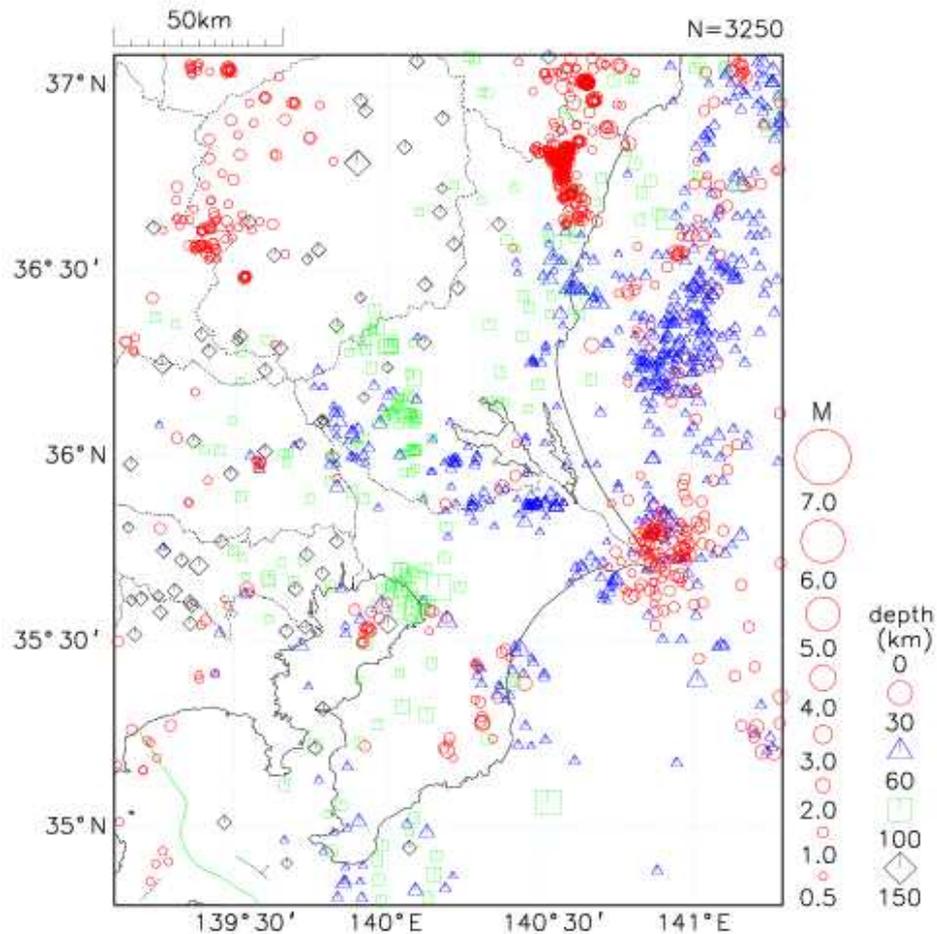


千葉県の地震概況（令和元年9月）



震央分布図（9月1日から9月30日）

- ・ Mはマグニチュードで0.5以上、depth（深さ）は150kmまでの地震を示しています。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

- ・ 本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。
- ・ データについては精査により、後日修正することがあります。

【地震活動概況】

今期間の県内の最大震度は2でした。

今期間に県内で震度1以上を観測した地震は9回ありました。

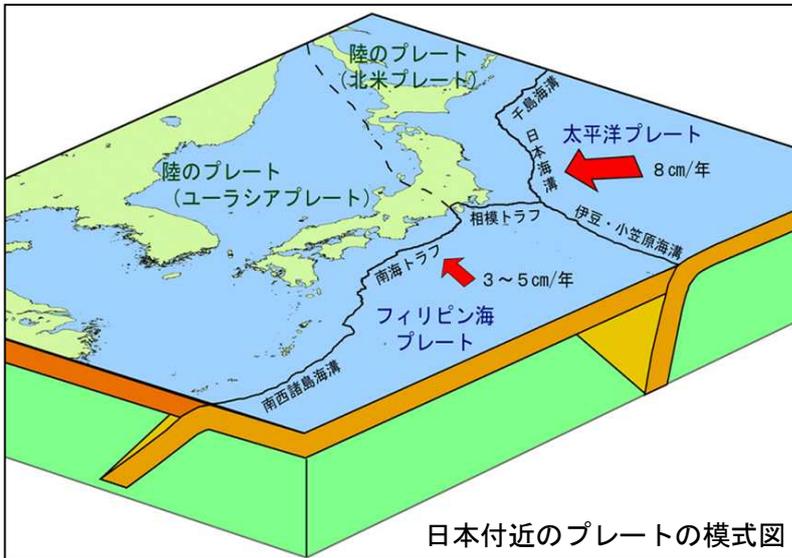
【県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震No.	地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	M	全国の最大震度	県内の最大震度
1	2019/09/01 03:56	千葉県東方沖	35° 49.8' N	140° 54.7' E	34km	M3.3	1	1
2	2019/09/13 01:35	千葉県北西部	35° 33.3' N	140° 11.6' E	56km	M3.3	2	2
3	2019/09/14 09:13	千葉県南東沖	35° 03.9' N	140° 31.3' E	97km	M4.0	1	1
4	2019/09/14 11:54	千葉県北西部	35° 38.8' N	140° 09.9' E	62km	M4.1	2	2
5	2019/09/16 15:56	千葉県南部	35° 16.8' N	140° 18.6' E	22km	M2.7	1	1
6	2019/09/19 08:49	茨城県沖	36° 25.0' N	140° 41.2' E	52km	M4.1	2	1
7	2019/09/27 22:25	千葉県北東部	35° 28.7' N	140° 25.8' E	31km	M3.3	2	2
8	2019/09/28 18:04	千葉県東方沖	35° 23.2' N	140° 26.8' E	28km	M2.4	1	1
9	2019/09/30 01:02	茨城県北部	36° 27.4' N	140° 36.5' E	56km	M4.3	3	2

各地の震度については、気象庁 HP「震度データベース検索」をご利用ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

本資料についての問い合わせ先 : 銚子地方気象台 電話 0479-23-7705



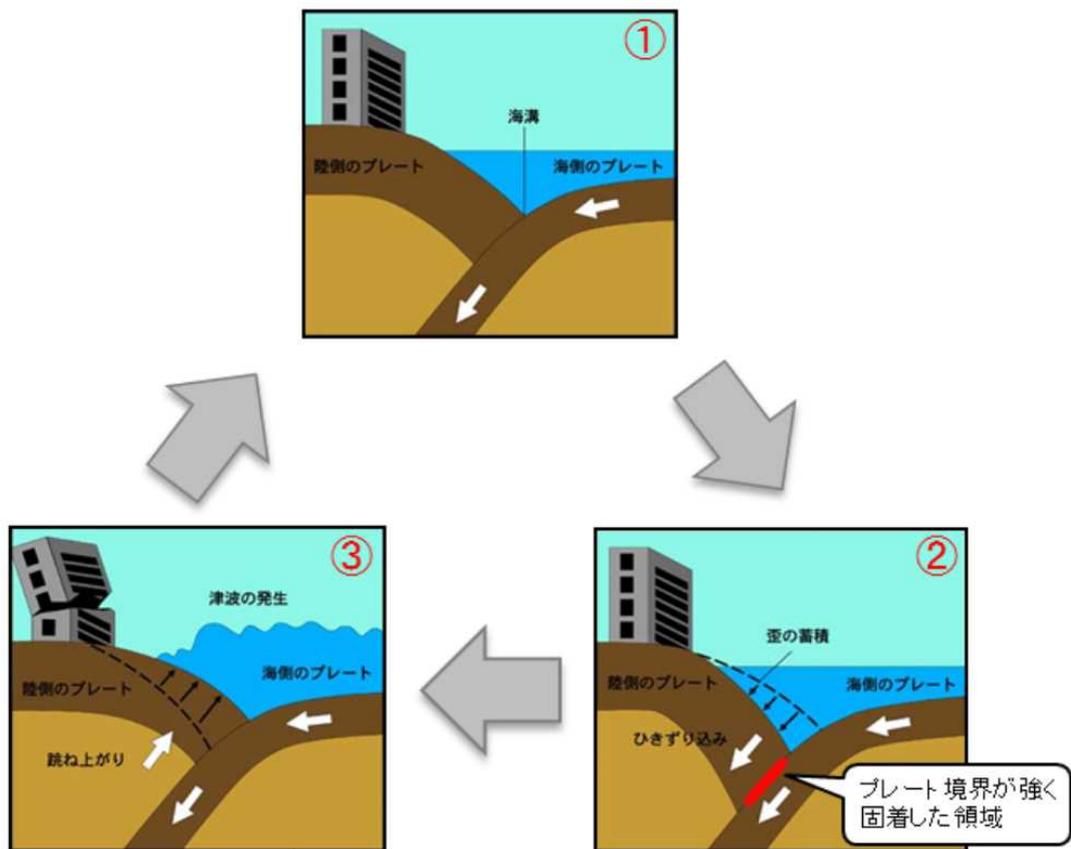
日本付近のプレートの模式図

南海トラフ地震とは

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。

駿河湾から遠州灘、熊野灘、紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する区域を「南海トラフ」といいます。

この南海トラフ沿いのプレート境界では、①海側のプレート（フィリピン海プレート）が陸側のプレート（ユーラシアプレート）の下に1年あたり数 cm の速度で沈み込んでいます。②その際、プレートの境界が強く固着して、陸側のプレートが地下に引きずり込まれ、ひずみが蓄積されます。③陸側のプレートが引きずり込みに耐えられなくなり、限界に達して跳ね上がることで発生する地震が「南海トラフ地震」です。①→②→③の状態が繰り返されるため、南海トラフ地震は繰り返し発生します。



日本付近のプレートの模式

* 気象庁 HP 「南海トラフ地震とは」 から抜粋して掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/nteq.html>

リーフレット「南海トラフ地震 –その時の備え–」

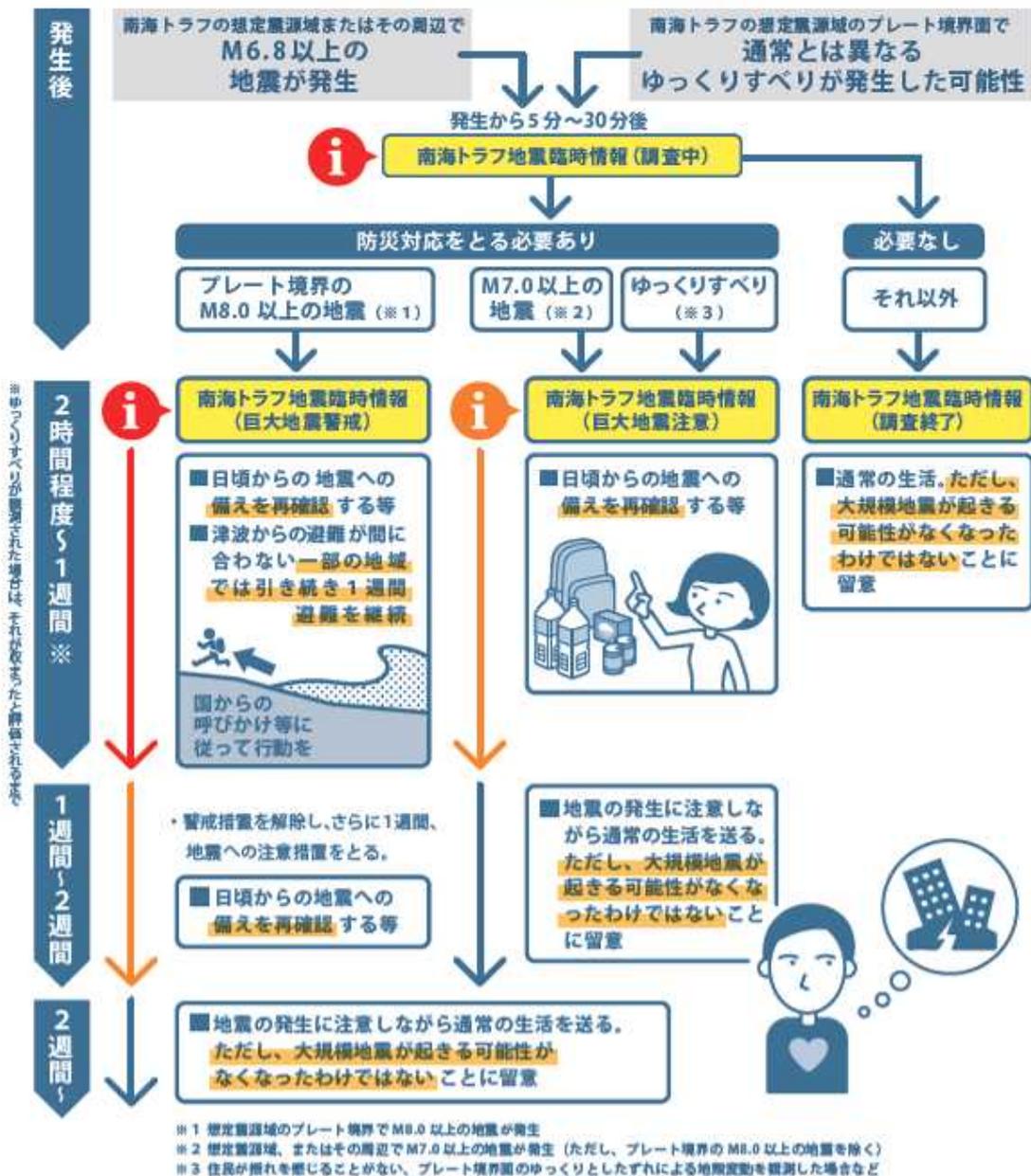
- ・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- ・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。



時間差で発生する巨大地震に備えましょう ～南海トラフ地震臨時情報～

- ・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- ・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

地震発生後の防災対応の流れ



*リーフレットは気象庁HPから入手することができます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>